

短期大学生向け簿記会計教育の新たなアプローチ： 実践的アクティブ・ラーニングによる理解促進

聖和学園短期大学
キャリア開発総合学科
永野 篤



ビジネスBASIC



ビジネスICT



経営・経理



医療ビジネス



公務員



ITシステム



WEBデザイン



コミュニティ福祉



司書・日本語



観光ビジネス



ホテル・ブライダル



フードビジネス



スイーツ・パンテクニク



ファッション



美容



スポーツビジネス



国際・K-カルチャー



進学・編入学



聖和学園短期大学

キャリア開発総合学科 令和6年度卒業生

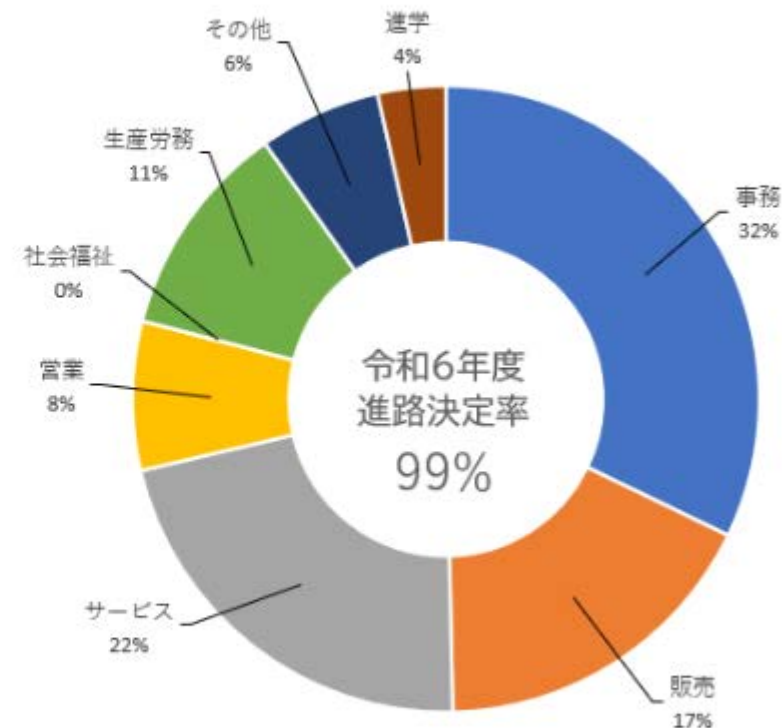
多分野から複数選択
組合せ自由(制限あり)

資格取得

司書など
科目履修により取得可能

製菓衛生師などは
科目履修により受験可能

MOS、FP、秘書検定
全国大学実務協会資格
その他専門分野の資格多数を支援



(令和7年5月1日現在)

背景と課題



キャリア開発総合学科は

ビジネス、情報、公務員、ファッション、フード、スポーツ、医療事務、といった幅広い分野を横断的に学びながら、社会人としての基礎力と資格取得を支援する実践的教育を行っている。

日商簿記3級～2級は就職活動において評価されやすく、将来の企業実務や家計管理にも直結する重要な検定と考えられる。

しかし、短大生の多くは社会経験が乏しく、簿記に対して「難しい」「用語が覚えられない」といった苦手意識を抱えている。

実際、過去2年間は合格者が出ておらず、改善が求められていた。簿記検定は学外受験で、学生のモチベーション維持も課題である。

そして、解決策

簿記は授業内で資格取得が完結しない。

学外受験にむけた授業方法の改善と心理的障壁の緩和を目指した。

2024年後期より「簿記会計学」においては

チームで会社経営を行うアクティブ・ラーニングを実施。

仮想企業経営による学びの流れ

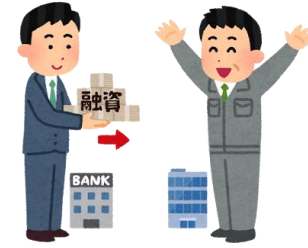
起業計画、出資者へのプレゼンテーション、資本金入金
株式発行、「おもちゃの」お金を使って想定(仕入・販売)
→ 仕訳 → 試算表 → 決算書

主体的・実践的な理解の促進

- 自分たちで考える → 見える化 → 理解が深まる



日商簿記3級への取り組み



体系の簡素化

以下は原則使わない(特に初期～中期)

- 借方、貸方、左側、右側
- 簿記の5要素



明確なロジック

- 「現金」プラスなら左、－は右
- 「現金」をいつ受取る、払うかで名称変更
「売掛金」「未収入金」、「買掛金」「未払金」など
- 反対側にその理由を書く

ことばではなく身体を使う

- ある勘定科目がどちらにくるかを挙手する
- 言語・思考を介さずに、身体的・直感的理解を促す

機械的記憶学習にならないための工夫

現実世界の参照

- 当座預金口座プロセス

歴史とのかかわり

- 織田信長の楽市楽座



モチベーションの維持

- 定期的に学習理解度アンケート
- 定期的な小テスト
- チーム対抗「クイズ大会」の実施
- 授業終了前に毎回アンケートを実施
- 理解度を把握し、次回以降の授業に反映

簿記と会計のメカニズムを理解していく

- 損益勘定を単純化し、「現金」と「利益」にフォーカス

簿記と会計講座

前期

- 「簿記検定Ⅰ」日商簿記3級、仕訳を中心に
- 90分授業15回授業
- 8回目でチーム対抗「仕訳・簿記」クイズ大会
- 第15回目までに仕訳と決算整理の論点明確化

夏期集中講座

- 日商簿記3級CBT対策講座(2級も可) [90分×8回]

後期

- 「簿記検定Ⅱ」日商簿記3級、試算表、決算書等
 - 「簿記会計学」アクティブ・ラーニング型会社経営
- ## 春期集中
- 現代会計と企業経営 [90分×8回]
 - 日本語と英語で学ぶ簿記会計の原理 [90分×8回]

日商簿記2級へ

前期

- 「簿記検定Ⅲ」日商簿記2級、3級まとめ、2級商業
- 90分授業15回授業

後期

- 「簿記検定Ⅳ」日商簿記2級、2級工業、模擬試験
- 上記想定は2年次の履修
- 現行は1年生のみ、うち2名は「簿記検定Ⅰ」も履修

-----日商簿記3級超を目指すメリット-----

- 図書館司書志望学生や多い
- 図書館司書の仕事に就けない場合や他の職業に興味を持った場合の活動に有利
- 会計、簿記、企業のお金の活用方法を知ることが有意義で将来の転職等にも役立つ